

教科名	地歴・公民	単位数	2 単位	担当者	小野辰朗 佐々木真司 山口龍美
科目名	地理総合	年次	1年次		
使用教科書 副教材等	「高等学校 新地理総合」(帝国書院) 「新詳高等地図」(帝国書院) 「新編 地理資料 2025」(帝国書院) 「'26 地理総合演習ノート」(啓隆社)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
地理に関わる諸事象に関して、世界の自然環境、資源と産業、生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けることができる。					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の自然環境、資源と産業、生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	地理に関わる事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。		
主 た る 評 価 方 法	定期考査 小テスト	行動の観察 定期考査 プリント等の提出	行動の観察 ノートの提出 プリント等の提出		
占 め る 割 合	50%	30%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようにになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前	<p>第1部 地図でとらえる現代世界</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>地球上の位置と時差、地図の役割と種類などについて理解し、読み取りまとめる技能を身に付けることができる。</p>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどを理解している。(知) ・地図やGISなどを用いて、情報を読み取り、まとめる技能を身に付けている。(技) ・地図やGISと現代世界について、よりよい社会の実現と課題を主体的に追及しようとしている。(態) 	<p>a. 定期考査 小テスト</p> <p>b. 行動の観察 定期考査 プリント等の提出</p>
	<p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際協力</p> <p>世界の地形と気候と人々の生活について、自然環境から影響を受けていることを理解し、世界の言語・宗教と人々の生活、産業と人々の生活が地理的環境と関連して多様性をもつことを理解できる。</p>	◎	○	○		
後期	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び都市・居住問題を基に、地球的課題の各地で共通する傾向や関連性について理解できる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料、都市・居住などに関わる諸事象を基に、それらの現状や解決に向けた取組などについて理解している。(知) ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料、都市・居住などに関わる諸事象について、よりよい社会の実現と課題を主体的に追及しようとしている。(態) 	
	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>日本の自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応といった防災の重要性を理解し、ハザードマップ等の地理情報について、情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>生活圏の調査を基に、地理的に課題の解決に向けた取組や探求する手法などについて理解できる。</p>	○	◎	○		